



平成15年 7月 発行

(財)伏木富山港・海王丸財団
TEL 0766-82-5181
FAX 0766-82-5197

第84号

6・7月の行事について

新規ボランティア養成訓練

5、6、7月に新規ボランティア養成訓練を行いました。以下の18名の方が参加され訓練を無事終了されました。

箕 真帆	さん
赤岩 三千男	さん
小島 光司	さん
竹本 和矢	さん
本田 佑一	さん
前川 裕哉	さん
笠間 道友	さん
本波 佑太	さん
船見 駿	さん
岩崎 学	さん
橋本 暢	さん
佐渡 学	さん
山岸 幸枝	さん
笹島 由絵	さん
池畑 さゆり	さん
平岡 代志美	さん
岡坂 真玄	さん
橘 規矩雄	さん

14名が7月6日、3名が7月20日の総帆展帆に参加され、新たに海王丸ボランティアとなりました。みなさん暖かく見守って下さい。

6月1日(日) 総帆展帆

雨天中止となりましたが、35名の方が集まれ、今後の展帆予定及び登しょう礼についての意見交換を行いました。

雨の中お越し頂き、ありがとうございます。

6月8日(日) カッター・セイリング教室

本年度第2回目のカッター・セイリング教室が開催され、一般参加者に交じり、海

王丸ボランティア11名が参加されました。

第1回目の高澤さんに引き続き、二上さんがお嬢さんと参加され、親子仲良く楽しまれました。

皆さん初めての Cutter による帆走に、子供のように目を輝かせていました。

6月15日(日)、7月13日(日) 登しょう礼練習

7月20日「海の記念日」の実施に向け登しょう礼の練習を行いました。両日とも参加予定58名のうち42名が参加されました。練習にも係わらず、来園者の熱い視線を集め、確かな手応えをつかんだようです。活発な意見交換があり、皆さんの熱いこだわりを感じました。

7月6日 総帆展帆

横浜日本丸のボランティアを含め、15名の新ボランティアが参加され、活気のある展帆となりました。そのうち12名は富山大原簿記法律専門学校の20歳前後の学生さん達です。みなさん張り切って新人の方に指導されていたのが印象的でした。

海技の伝承をよろしく願います。

天候：曇り 参加人数96名
展帆状態：スクエアヤーズ

7月20日 総帆展帆

蒸し暑い天候の中、パークフェスティバルへ訪れた、たくさんのお見学者に見守られての展帆となりました。これからますます暑くなります。安全を保つためには集中力が必要です。皆さん日焼け対策、水分補給をお忘れなく。

天候：晴れ時々雨 参加人数94名
展帆状態：スターボードタックシャープアップヤーズ

登しょう礼について

7月20日展帆前に登しょう礼を行いました。ヤード上参加者は53名でした。前年度より参加者が増え、見た目にも迫力のある登しょう礼になり、見学者の視線を集めていました。練習の成果が発揮され、統率のとれた見事な登しょう礼でした。次回はさらに多くの方が参加されることでしょう。

ボランティア表彰について

7月20日「海の記念日」、展帆終了後、総帆展帆100回参加の「海王賞」、総帆展帆50回または甲板作業250時間参加の「紺青賞」の表彰が行われました。受賞者は下記のとおりです。

海王賞（展帆） 8名
No.006 磯辺 富次 さん
No.012 伊東 可志郎さん
No.021 大屋 明 さん
No.111 宮越 謙三 さん
No.124 森田 恵子 さん
No.140 若林 邦男 さん
No.197 坂橋 誠 さん
No.203 虎谷 博 さん

紺青賞（展帆） 4名
No.267 酒井 聰 さん
No.409 高島 聖子 さん
No.416 吉田 勇一 さん

紺青賞（甲板） 1名
No.059 玉井 文次 さん

記念品として海王賞受賞者には記念の楯が、紺青賞受賞者には海王丸エムブレムが贈られました。

13名の皆様おめでとうございます。
これからよろしくお願ひします。

カッターレースの協力依頼について

8月31日（日）海王丸パークにて第2回カッターレースが開催されます。今回もボランティアの皆さんにレースのお手伝いをお願いいたします。ご希望の方は返信はがきの短信欄にその旨ご記入をお願いします。

レース記録係：
レース記録の連絡・記録記載・表彰準備など

応対受付係：
受付・来賓者対応、参加賞の配布など

チーム誘導係：
参加チーム誘導、会場案内など

また、昨年度はボランティア男性3チーム、女性2チームが参加されました。今年は展帆日などを利用して、練習を地道に続けられていますので上位入賞が期待できそうです。皆さんの手でレースを盛りたてて行きましょう。

SPLICING THE MAIN-BRACE

大気の流れについて（その3）

連載した「大気の流れ」について、今回は最終回です。

第3次の循環

これは皆さんが最も身近に経験する現象ですが、たくさんありますので代表的なものを選んで紹介することにします。

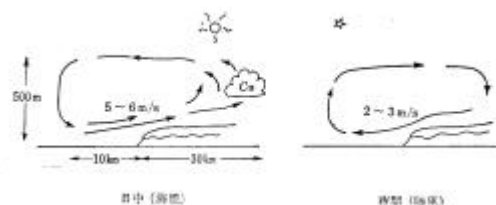
（1）海陸風

海陸風とは天気の良い穏やかなときに海岸地方でみられる風で、周期は規則正しく繰り返します。中緯度では夏の晴れた日に見られる局地風です。

海上の気温と陸上の気温が釣り合っている日没後から午後11時頃までは風のない状態で、これを夕風（ゆうなぎ）と言います。やがて陸地では放射冷却が進みますが、海上の気温はあまり下がらないので、陸地の重い空気が海上へ流れ出し陸風となります。海上の空気は弱い上昇気流となって、上空では陸地の方へ向かい局地的な対流を作ります。この陸風は日の出前後まで続きます。

その後、海上と陸地の気温が再び釣り合って風が無くなり、朝風（あさなぎ）となります。日が高くなるにつれて陸地の気温は次第に上がりますが、海上はあまり上がりません。そのため陸地では上昇気流が起こり、そこへ海上から風が吹き込んできます。これが海風であり、午前10時頃から吹き出して、午後1時頃最も強くなり、日没頃まで続きます。

気温差は日中の方が大きいので海風の方が強く、風速は5～6m/s程度で、陸風はその半分の2～3m/s程度です。



海 陸 風

(2) 雷雨

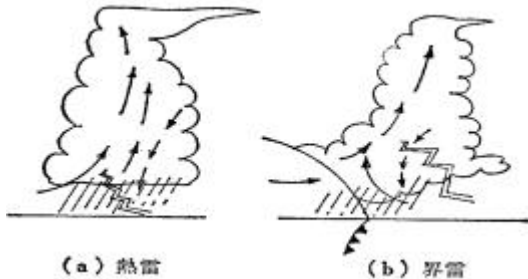
雷雨は激しい上昇気流によって生じた積乱雲が母体になっています。この積乱雲からはしゅう雨が降り、時にはひょうも降ります。また、雷鳴と電光が走り、激しい時は落雷するのです。

雷は、その発生原因によって次の3つに分けられます。

熱雷：気温の高い夏の午後、強い日射しによって地面付近の空気が暖められ、激しい上昇気流が起こる時に発生するものです。

渦雷：低気圧雷とも言い、低気圧や台風を中心部に起こる激しい上昇気流によって起こるものです。

界雷：前線雷とも言い、寒冷前線では寒気団が暖気団を激しく押し上げた時に起こります。季節によって寒雷（冬）とか春雷（春）というように、低気圧のよく発生する寒候期に多いものです。



(a) 熱雷

(b) 界雷

雷雨

雷雲は直径10kmくらいの小さなもので、観測もれをすることも少なくありませんが、雷雨が近づいてくると突風が吹き出し、空がわかにかき曇ったかと思うと閃光が暗雲を走り、大粒の雨が勢いよく降ってきたり、また、雷雲が近づいてくると気圧は徐々に下がっているのですが、雨が降り出す10数分前に気圧が2~3hpa上がり、その後また徐々に下がりだして雨になることが多いことから判断することができます。

(3) 竜巻

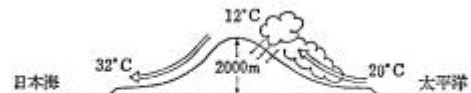
竜巻は強い雷雨に伴って起こりやすく、発達しつつある低気圧中の強い寒冷前線やスコールライン（不安定線、偽似前線：寒冷前線に似た性質を持っているが、寒冷前線を離れて暖域の中に侵入していくもの）に起こります。台風にあたる風速（中心では100m/sを超える）と気圧が急に数十hpaも下がるので、中心に激しい吹き込みがあり、漏斗（ろうと）状の雲を伴います。規模は、ふつう直径20~200m、移動速度10~15m/s、高さ1000m以下で、寿命は10分以内です。

(4) フェーン

これは空気が上昇したり、下降したりする時の温度変化に関して、湿気を含んだ空気と乾燥した空気では異なるために生じる現象です。湿気を含んだ風が山を越す時、山の風上で雲を生じ、雨や雪を降らせながら山を登ります。このとき空気は湿潤断熱減率（0.4 / 100m）で気温が下がり、頂上に到達した風は湿気の抜けた乾いた空気になっています。この風が風下の平地に吹きおりてくる時には、乾燥断熱的に昇温（1.0 / 100m）するので、山を登る前より気温が上がることとなります。

この風は、もともと北部アルプスのスイスやチロル地方の局地風のことを言っていますが、最近では同じ型の風について使われています。

我が国でも中央に山脈が走っていて、フェーン現象がよく起こり、山岳方面で雪崩（なだれ）を起こしたり、日本海側の各地に大火を何回も起こしています。発達した低気圧が北緯40度よりも北の日本海を通り、太平洋側に高気圧がある時、本邦は低気圧の暖域に挟まれ、温暖・多湿の強い風が日本の脊梁（せきりょう）山脈に吹きつけるので、起こりやすくなります。特に春先は、日本海を低気圧が発達しながら通るので、起こりやすい時期ですが、低気圧があまり沿岸に近いと、雨や雪を降らせるので乾燥状態にならず、フェーン現象は起こりません。



増大な例として、風が2000mの山を湿潤断熱減率(0.4°C/100m)で上昇し、乾燥断熱減率で吹き下ろせば、20°Cの空気が32°Cになる。

フェーン現象

参考：「海洋気象講座」

8・9月、10月前半の行事予定

8・9月、10月前半 総帆展帆

日時：平成15年 8月 3日(日)
9月 7日(日)
10月 5日(日)
10:00 ~ (受付は9時から)
場所：更衣：研修室
集合：第一教室
その他：返信葉書に参加・不参加の記入をお願いします。

第2回海王丸カッターレース

日 時：8月31日(日)(小雨決行)
09:30~17:00
場 所：海王丸パーク内会場
レース種類：
一般の部 400m回頭
女性の部 400m回頭
中学生の部 200m直進
児童の部 200m直進
申込締切：7月31日(木)
問い合わせ先：財団事務所まで

カッター・セイリング教室

6mカッターを使い、とう走・帆走訓練を行います。一般参加の方と合同で実施します。希望者は海事課までご連絡下さい。

日 時：10月18日(土)
09:30~15:45
費 用：小・中学生 一人200円
高校生以上 一人400円
(昼食代別)

イベント紹介

新湊まつり

8月2日(土)、3日(日)の両日、新湊まつりが開催されます。
8月3日(日)の花火大会にあわせ、海王丸に午後9時まで夜間乗船できます。

『昭和』大百貨展 in 海王丸パーク

日 時：9月13日(土)~15日(祝)

海王丸パークが昭和時代にタイムスリップ！懐かしグッズが大集合します！

海王丸パーク写真コンテスト

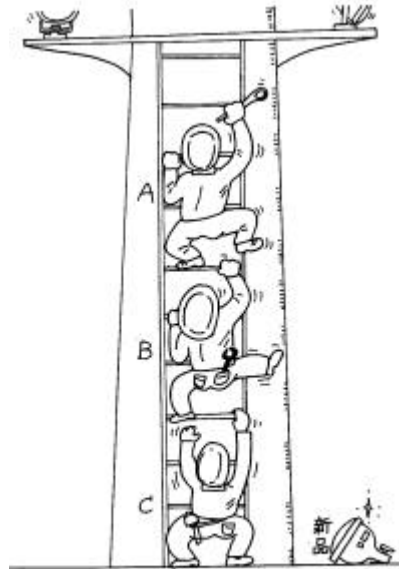
2004年海王丸カレンダー製作用に写真コンテストを行います。平成14年以降に撮影したパーク及び海王丸の四季にわたる写真を応募下さい。
問い合わせ先：財団事務所まで

危険予知トレーニング

以前、皆さんに展帆作業の中で「ヒヤリ」、「ハッと」したことをアンケートしました。これからのボランティア活動において安全

意識の向上、危険予知力を身に付けるため、イラストを用いて危険予知をしていきたいと思えます。

どんな危険がひそんでいるのでしょうか？
考えてみましょう。



マスト中間の壊れたカーゴライトを取り替えようとしている。

答えは次号で！

(船員災害防止協会刊：商船K Y Tイラストシート集シート5より抜粋)

寄稿募集

皆さんの徒然なる思いを『舵輪』に載せてみませんか？寄稿が少ないのは、募集していないからだと気が付きました。内容、書式、字数ともに自由です。受付は随時、締め切りは特にありません。皆さんの力で『舵輪』はもっと面白くなります。
書いてみようと思われる方は海事課までぜひご連絡下さい。

終わりに

「舵輪」を編集するにあたって、過去の文面を読み返してみると、なんだか今の「舵輪」は随分堅苦しいなあと感じました。と同時に自分でそうしていることに気が付きました。帆船らしく創刊当初の自由な気風を目指していきますので、皆さんよろしくお願ひします。

(めんたつ)